

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	建築法規特論	
科目基礎情報							
開設学科	建築学科		コース名	編入コース		開設期	前期
対象年次	3年次		科目区分	選択		時間数	60時間
単位数	4単位				授業形態	講義	
教科書/教材	教科書、問題集、法令集、必要に応じてプリントを配布						
担当教員情報							
担当教員	杉山 英知			実務経験の有無・職種	有 建築設計 一級建築士		
学習目的							
2級建築士の学科試験を合格することを目的としている。まず第一に法令集に線を引いたり見出しをつけたりする準備が必要である。法令を熟読し法令の組み合わせにも対応ができ、総合的に問題が解けるようになることを学習目的とする。							
到達目標							
この科目の到達目標は、2級建築士学科試験レベルの知識を付けることである。法令集を適切に引けるようになり、ある程度、法令集を引かなくても問題が解けるようになることが重要である。2級建築士学科試験の中で「建築法規」は法令集を持込可能なため、満点が望める科目である。最終的には学科試験合格はもちろんのこと、後期の設計課題にも使える下地となっていることが到達目標である。							
教育方法等							
授業概要	この授業では、テキストを中心に各項目ごとに段階的に進める。要点を理解させ問題を交えて理解度を高めていく。特に法令集になれることと、反復練習が重要となる。						
注意点	この授業では、段階的に理解していかないと遅れをとるため、遅刻・欠席は厳禁とする。体調不良などで休まなくてはならない場合は、自分で学習し遅れを取らないようにすること。予習・復習・問題を解くことを自宅でも行うこと。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験結果	70%	本試験の結果を評価する				
	出席状況	20%	段階的に学習しているものとして評価する				
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	用語の定義,確認申請・建築手続			ガイダンスおよび用語の定義を理解する			
2回	確認申請・建築手続			確認申請および手続き、完了検査・中間検査などの流れを理解する			
3回	面積・高さの算定			面積の算定方法、建物の高さのとりえ方を理解する			
4回	一般構造			採光計算、換気計算、階段寸法を理解する			
5回	耐火・防火、防火地域・準防火地域			耐火および防火の技術基準を学び特殊建築や区画・避難経路について理解する			
6回	避難施設等			避難施設の安全と構造を理解する			
7回	内装制限			要点を理解したうえで、各項目の問題を集中的に解き理解する			
8回	構造計算・構造強度			加重戸が威力や構造の種類を理解する			
9回	敷地等と道路			道路の定義、道路と敷地の関係を理解する			
10回	用途地域			用途地域の種類と規制を理解する			
11回	建坪率、容積率			建坪率と容積率の算定を理解する			
12回	高さ制限			用途地域における道路斜線、隣地斜線、北側斜線を理解する			
13回	日影規制、雑則			日影規制の算定方法を理解する			
14回	関連法令1			建築士法、バリアフリー法、耐震改修、などを理解する			
15回	関連法令2			住宅品確法や都市計画、消防法、建設業法、宅建、景観法、民法などを理解する			